

大野っ子のよさ

大野小学校に赴任して二年目になりました。今年も教員生活初めての、六年生を担当しています。六年担任をすることで学校全体を動かす機会も数多くあり「大野っ子のよさ」を改めて実感しています。

その一つが、外遊びをする子どもが多いことです。私が赴任してきた小学校の子どもたちと比べると、大野小学校は、元気に外遊びをする子どもが圧倒的に多く、休憩時間になると、たくさんの子どもの声があふれるように聞こえます。中には、高学年の子が低学年の子と遊んでいる姿が見られ微笑ましく感じます。

次に、素直な子どもが多いことです。学校生活における今の課題を六年生で考えたところ、あいさつをすることと廊下を歩くことが挙げられました。そこで学校をよりよくするために各委員会「あいさつ運動」や「廊下をあるこう週間」を実施したところ、自分からあいさつする子どもは増え、廊下を走る子どもが減りました。高学年を中心に取組ができたこととその取組に対して、他の学年の子どもが素直に受け入れ、意識する子どもが増えたことが何より嬉

しかったです。

私がそんな子どもたちとのふれ合いにおいて大切にしていることは、子どもの気持ちに寄り添うことです。

もちろん人間ですから感情的になることや自分の気持ちを上手く伝えることができないこともあります。大人にとっては「なんだ。そんなことか」と思うようなことでも、子どもにとっては大問題なのです。苦しい思いをしていることを前提に、その時の気持ちや行動はどうだったのかと一緒に考えるように努めています。今後とも子どもたちの気持ちに寄り添う態度を大切にしながら、子どもたちとともに成長していきたいと思っています。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

大野小学校 神田 寛



のびのびひろば

こころの育ちを大切に♪

安心と自信がうまれる♡冬のふれあいあそび



乳幼児期の子どもの成長は目覚ましいものがありますね。この時期に、「身近な大人に自分はちゃんと受け止められている」と思える体験が、心の安全基地となり、人生で出会う様々な困難に立ち向かい、乗り越え、幸せを作り出す力につながっていくと言われています。

～子どもとのかかわりの中で大切にしたいこと～

- ★「褒める」こと。
 - ・褒めることでやる気へとつながっていきます♪
- ★「感謝の言葉を掛ける」こと。
 - ・認めてもらった自信を感じることもできます♪
- ★「大好きだよの気持ちをたくさん伝える」こと。
 - ・自己肯定感が高まり、安心感を感じることが出来ます♪



おうちでやってみよう♪

『にらめっこ』

だるまさん だるまさん
にらめっこ しましろう
わらうと まげよ
あっぱっぶ

向かい合って歌います。
『あっぱっぶ』で頬を膨らませ、
両手で押さえる。

ぶ～ってるのが
面白い!

『だいこんきって』

だいこんきって きりすぎて(腕をトントン)
たたいて (手の甲を軽くたたく)
つねって (手の甲を軽くつねる)
なでなでて(なでる)
ばんそうこうはっても いいですか?(尋ねる)
はい→(べったん) いいえ→(こちょこちょ)



ふれあい遊びは、顔や目をあわせ、言葉や表情でお互いの気持ちを伝えたり読み取ったり、人のぬくもりを感じたりできる素敵な遊びです。子どもたちも大好きで、園で繰り返し楽しみながら「豊かな心」を育てています。(鏡野町立こども園・保育園)